

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-85000(P2006-85000A)

【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-013

【出願番号】特願2004-271784(P2004-271784)

【国際特許分類】

G 02 B 7/28 (2006.01)

G 03 B 15/05 (2006.01)

G 03 B 13/36 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/11 N

G 03 B 15/05

G 03 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月24日(2007.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の色の光を発する第1の発光体および前記第1の色と異なる第2の色の光を発する第2の発光体と、

前記第1の発光体および第2の発光体をそれぞれ発光／消灯させる発光制御手段と、

撮影時に前記第1の発光体および前記第2の発光体をともに発光させるとともに、測距時に前記第1の発光体のみを発光させるように前記発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、

前記第1の色は測距センサの受光感度が高い色であることを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項2】

請求項1に記載の撮影用照明装置において、

前記第1の色はR色成分を含むことを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項3】

第1の色の光を発する第1の発光体および前記第1の色と異なる第2の色の光を発する第2の発光体と、

前記第1の発光体および第2の発光体をそれぞれ発光／消灯させる発光制御手段と、

撮影時に前記第1の発光体および前記第2の発光体をともに発光させるとともに、赤目軽減用の予備発光時に前記第2の発光体のみを発光させるように前記発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、

前記第2の色は人の桿体細胞において受光感度が高い色であることを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項4】

請求項3に記載の撮影用照明装置において、

前記第2の色はG色成分を含むことを特徴とする撮影用照明装置。

【請求項5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の撮影用照明装置を備えることを特徴とするカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

(1) 請求項 1 に記載の発明による撮影用照明装置は、第 1 の色の光を発する第 1 の発光体および第 1 の色と異なる第 2 の色の光を発する第 2 の発光体と、第 1 の発光体および第 2 の発光体をそれぞれ発光 / 消灯させる発光制御手段と、撮影時に第 1 の発光体および第 2 の発光体をともに発光させるとともに、測距時に第 1 の発光体のみを発光させるように発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、第 1 の色は測距センサの受光感度が高い色であることを特徴とする。

(2) 請求項 1 に記載の撮影用照明装置において、第 1 の色は R 色成分を含んでもよい。

(3) 請求項 3 に記載の発明による撮影用照明装置は、第 1 の色の光を発する第 1 の発光体および第 1 の色と異なる第 2 の色の光を発する第 2 の発光体と、第 1 の発光体および第 2 の発光体をそれぞれ発光 / 消灯させる発光制御手段と、撮影時に第 1 の発光体および第 2 の発光体をともに発光させるとともに、赤目軽減用の予備発光時に第 2 の発光体のみを発光させるように発光制御手段に指示する色制御手段とを備え、第 2 の色は人の桿体細胞において受光感度が高い色であることを特徴とする。

(4) 請求項 3 に記載の撮影用照明装置において、第 2 の色は G 色成分を含んでもよい。

(5) 請求項 5 に記載の発明によるカメラは、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の撮影用照明装置を備えることを特徴とする。